

各位

2018年6月8日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年4月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 110.2%と前年を上回り、学生団体は同 124.8%と前年を上回り、団体旅行合計で同 112.9%と前年を上回った。企画旅行については前年比 120.3%と前年を上回り、個人旅行については同 118.4%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 118.2%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 107.1%と前年を上回ったが、学生団体は同 90.7%と前年を下回り、団体旅行合計で同 96.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比 95.5%と前年を下回り、個人旅行については同 100.1%と前年を上回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 96.5%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 111.1%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は前年比 102.5%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、企業系コンベンションや視察・研修などの取扱人数が増加し前年比 110.2%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行外において研修や留学などの取扱人数や取扱単価の増加が牽引し、同 124.8%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 112.9%と前年を上回った。海外企画旅行については、前年比 120.3%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ミクロネシアやアメリカ、アジア方面などが好調に推移し前年を上回ったが、ハワイ方面などが減少した。また、ヨーロッパ方面の共同催行ツアーなど一部の商品をクラブツーリズム商品に一体化した影響減があったが、両商品の合算においては好調に推移している。クラブツーリズムはヨーロッパの南欧方面、オーストラリア、南米周遊など低調な方面もあったが、ヨーロッパ全般、カナダを含む北米、ハワイ、ニュージーランド、東南アジア、中国、ニュージーランドなど、全般的に概ね好調に推移した。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 118.2%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊やレイルパスの取扱が好調に推移し、前年比 111.1%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、前年の大型イベント団体参拝旅行の反動減の影響があったが、招待旅行や職場旅行などの取扱が増加したことにより前年比 107.1%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行や遠足などの取扱人数が減少し、同 90.7%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 96.5%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比 95.5%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況で、関東方面などが減少したが、北海道や東北、九州、沖縄方面などを中心に好調に推移した。クラブツーリズムは、バス旅行部門は全般において低調であった。バス旅行を除く国内旅行部門は道東や、関東、佐渡、東海、南紀、伊勢、関西など堅調な方面もあったが、全般的には低調であった。国内旅行は桜の早期開花や霧島新燃岳噴火の影響を大きく受け売上が減少した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 96.5%と前年を下回った。

以上